

令和元年度 授業エキスパートを目指す授業研究会 令和2年1月31日（金）

春日部市立豊野中学校

中学校 英語

単元名：Lesson 8 Manga, Anime and Movies TOTAL ENGLISH 2



ICTの効果的な活用により
文字を介さない音声中心の指導



教師の的確かつ、テンポのよい指示により
圧倒的な生徒の発話量を確保

参会者アンケートから

研究会のあり方・全体的な感想

- 自分にはない発話量。とても参考になりました。日々の積み重ねで、文字を見せず、ここまで会話ができることができてよかったです。
- 授業者の信念が伝わる授業でした。今回の授業はあくまで中間地点で、ここからさらにどんな授業が展開されるのか気になりました。
- リズム・テンポがよく、指示も明確で、練習量が多く、圧倒されました。授業の雰囲気もよく、授業者の方の日々の指導の結果だと思いました。自分には見たこともない授業だったので、大変勉強になりました。
- 1時間の授業のほとんどを言語活動で行う授業は初めてでした。「やりとり」や「即興」のためには、どうすればよいかのヒントを学ぶことができました。
- オール・イングリッシュで、生徒が英語を話す回数が多く、参考になりました。同じ教科書を使っているため、今後の参考になりました。
- 言語活動のスピード感やテンポをあげるために、ICTを効果的に活用することや、指示を明確にすること、生徒へのサポートをタイミングよく行うことが大切だと気付いた。
- 自分も電子黒板を使って授業を行ってみたいと思いました。



生徒が自力で、「やりとり」
を行うための活動準備



自分の考えや気持ちを伝える
教師との代表生徒の1対1のやりとり
の場面を設定。

- 型を徹底的に教え込む、使わせる授業に感銘を受けました。自分なりに工夫を取り入れてみたいと思います。
- 即興的な授業で、見ていて非常に楽しかったです。生徒も即興でやりとりをすることに慣れているようでした。次期学習指導要領の「話すこと [やりとり]」の授業の模範だと思います。
- 生徒が生き生きと英語を話す姿を見て、こういった授業を自分も目指さないといけないと感じました。テンポ・リズムをこれからの自分の目標にしたいです。
- 簡単な英語でどれだけ生徒を動かすか。Go. Move. Switch…で、ここまでの発話が可能であることにとても驚きました。ICTの活用、絵だけで英文を言えるようにするなど、自分もぜひやってみたいです。
- 生徒の発話量が圧倒的に多くて驚きました。今まで自分が見た授業で、1番多かったと思います。私も授業で、生徒にもっともっと話させる必要があると実感しました。
- 活動の多さに圧倒され、授業の直後は手放しでの称賛する声が多かったように思う。その後のワークショップを通して、課題や改善点についても、建設的に話し合うことができた。
- グループ内で、他の先生の意見や考えを聞きながら、お互いの指導実践等も伺うことができ、参考になりました。また、授業者の1時間の授業の考え方や、3年間の集大成としてゴールをしっかりと定めた上で行なっていることが分かり勉強になりました。
- グループ協議では、自分では思いつかなかった振り返りもあり、とても参考になりました。また、授業者の授業への思いを聞いて、私ももっと子供のことを見て授業を行っていきたいと思いました。
- 小学校から参加させていただきました。授業者の授業に対する思いや情熱を感じました。また、小中の接続や連携について、より意識することができました。小学校段階で英語嫌いをなるべく作らないように、また、ただ楽しむだけでなく、必要な内容も身に付ける指導をしたいと感じました。
- 協議では生徒が成功体験や達成感を得ることで、英語嫌いを生まないことや、学び合いに発展させることも、定着に役立つと感じました。
- 様々な意見がありましたが、自分が何をしたいのか、生徒にどうなってほしいのかという軸が大切なのだと感じました。
- 話し合いの中で、共通する悩みやその解決策について意見交換をすることで、非常に爽りのある45分間になりました。



他の地域の教員との**研究協議**



班ごとの**協議内容を共有**



埼玉県の優秀表彰教員（**れんたつ先生**）の
宮代町立百間中学校 **山納 智子 先生**
による、**全体指導**